

福島県労連

2024年 3月15日 Vol.283(3月号)

しのぶ福祉会
パワハラ裁判

仙台高裁も「完全勝訴」



勝利判決を喜ぶ「支援する会」のみなさん(2月20日、仙台弁護士会館)

判決確定「ハラスメントのない安全な環境のもと復職させよ！」
しのぶ福祉会パワハラ裁判(控訴審)の勝利判決とその確定をうけ、「支援する会」が報告と御礼の文書を発表しましたので、紹介します(抜粋)。

*** **

社会福祉法人しのぶ福祉会のパワハラ裁判「控訴審判決」が2月20日、仙台高裁で示されました。判決は、記録された数々の証拠と弁論をもとに、福島地裁に続き被告ら3名と被告人の不法・違法行為を厳しく断罪するもので、原告の「完全勝訴」となりました。

しかも控訴審では、①被告ら3名のパワハラが現理事長や理事による「組織的な一連一体の行為」であるとまで踏み込んだ認定がされており、被告らの行為は、社会的に許されない違法なものであることがより明らかになりました。

また判決は、②原告らのうつ病発症がパワハラに起因することや、③退職届(雇用契約の合意解約申入れ)の撤回は有効に行われたこと、④労災であるにもかかわらず退職扱いしたこと

は「労基法第19条1項に違反」する、⑤給与規定の不利な変更も「強い精神的圧迫を受け、恐怖心から署名押印した」もので無効であると明確に断じています。⑥原告2名の賃金・

賞与の支払い(休業損害)と、精神的苦痛に対する慰謝料等は合わせて約4,200万円と認められました。

被告法人は3月6日、最高裁に「上告しない」意思を示しましたので、控訴審判決が確定しました。判決内容は、同様のケースにおいて重要な判例となり、パワハラや労働争議で苦しむ人たちに一筋の光となることでしょう。

これまでご支援いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

裁判は終結しましたが、私たちは法人に対して「判決に基づき、2名の雇用継続を認め、ハラスメントのない安全な環境のもと復職させること」を求めていきます。また、しのぶ福祉会が人権侵害を深く反省し各種法令の遵守及び健全な事業運営を行う管理体制を構築するよう求めます。

以上を報告申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。



2024年
春闘

「物価高騰上回るすべての労働者の賃上げ」へ 力あわせてたたかおう!



全国いつせいストライキ構え、
大幅賃上げかち取る

大幅賃上げかち取る

―全日本国立医療労働組合(全医労)―

全医労は、国立病院機構で働く職員でつくる労働組合で、全都道府県に137支部、福島県内では福島支部(須賀川市)といわき支部(いわき市)があります。

全医労は、2月29日に開催する2023年度の第3回団体交渉で、国家公務員並みの改定率と改定時期、非常勤職員の経験加算で前進回答がない場合には、3月1日に全国すべての支部で、始業時1時間の2人ずつの指名ストを決行することを記者会見で発表し、たたかいをすすめてきました。

東京都内で行われた団体交渉では、機構側が常勤職員の基本給の大幅引き上げなどの前進回答を示したこと、妥結し、ストライキを回避しました。

常勤職員の基本給については、これまでの「平均改定率1・5%、平均改定額4290円」から「平均改定率2・9%、平均改定額8324円」へと大幅に引き上げました。中年年齢層職員については国家公務員水準を上回る回答を示しました。非常勤職員の経験加算制度については、今回は見送られましたが、機構は必要性を認めました。

国立病院機構を動かし、2次回答を引き出した最大の要因は、全支部で3月1日にストライキ準備を行い追及してきたことにあり、全医労はよりよい医療の実現にむけ、引き続き、2024年度の賃金交渉での前進をめざします。

6年ぶりにベースアップかち取る

(全医労ニュースより)

福島さくら農協労組は今春闘において、大卒初任給は10,800円UPの195,800円に至り、全体でも最低5,000円UP、定昇平均で3・73%。平成30年以来6年ぶりのベースアップを勝ち取りました。

この間の交渉では、一般企業並みの賃金水準にしていかなければ、人材も集まらず、中途退職にも繋がるとしてベースアップの必要性を強調。さらに昨年ベースアップを実施した近隣農協との賃金

賃上げに向け、国の抜本的な支援を!

―経営者団体と要請・懇談

福島県労連と各地方労連は、2024年春闘で、すべての労働者の賃上げ・底上げを実現するために、県内の経営者団体への要請・懇談を実施しています。これまでに県労連は県中小企業団体中央会、県商工会連合会、県経営者協会の3つに、会津地方労連が会津若松商工会議所、会津喜多方商工会議所に要請しました。懇談では、県内の中小企業や小規模事業者は賃上げが必要だと考えていること、しかし、価格転嫁が思うようにならず、きびしい状態にあること、国の支援が必要であることなどが共通して出されました。賃上げに向けた国の抜本的な支援策が求められています。

―福島さくら農協労組

格差も具体的に示すなどして、粘り強く訴えてきました。その結果、当初ベースアップ実施に難色を示していた経営者も考えを改め、今回の実施に繋がりました。

しかし一般企業の平均初任給は大卒で21万円台であり、まだまだ及びません。さらにその額も毎年右肩上がりに更新されていることから、次期春闘に向け気持ちを切り替え、さらなる引き上げをめざしていきたいと思っています。

(福島県農協労連書記長 鈴木修)



●板橋正治県経営者協会連合会専務理事(右)に要請書を手渡す野木茂雄県労連議長(左から3人目)



●澁川恵男会津若松商工会議所会頭(左)に要請書を手渡す折笠由美子会津地方労連議長(右)

東日本大震災 原発事故から13年にあたって

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から13年
を迎えました。3人の方に、思いを寄せていただきました。



昨年10月の「被災地支援ボランティア」
(草刈り)のようす

決して忘れてはいけない

—知らない世代に伝えていく—

福島県厚生連労組書記長 佐々木崇さん

福島県厚生連労働組合（福厚）が広がっていると感じました。

（芳）は毎年、南相馬市で「被災地 震災から13年が経ち、震災・支援ボランティア」を行っていま 原発事故は風化されつつあります。が、決して忘れてはいけないこと

震災直後は瓦礫の撤去などがメインでしたが、今は草刈りや草むしりがメインとなっています。特にここ数年は帰還した住人の高齢に伴い自宅敷地内の手入れが出ており、その敷地内での作業が主です。昨年10月の作業には、福厚からだけでなく、全国厚生連労働組合（全厚労）の仲間（東京・三重）からの参加や組合員のお子さんの参加もあり、支援の輪

福厚は今後も支援を必要としている人がいる以上、ボランティア活動を継続していこうと考えています。

原発事故の恐ろしさを後世に語り継ぐ

相双地方労連事務局長 渡辺勝義さん

私は飯館村からの避難者です。大震災と原発事故という複合災害に苦しんできました。被災地の帰還者はいまだ3割に満たない状況で復興は道半ばです。しかし原発事故に関する被害の風化が感じられ、人々の関心が薄れることにに対し、私は「被災地ガイド」の活動を通して警鐘を鳴らしています。

現在まで430組以上を案内しました。コロナ禍の時は規制がありましたので、「行ったつもりで飯館村」を企画し、都会のカフェなどに20数名が参加し、私がオ

必死に生徒と接してきて

福島県立高教組副委員長 船尾陽子さん



今日、スーパーで「センサー！」と呼び止められに赴任してきて、丸7年が経つ。

4年前に卒業させた彼女は、明学校の最寄り駅の広野から二駅行けばそこら電車は不通。北にはだれも住むことができない土地が広がっていた。そんな殺伐とした空気の中、最新の制服に身を包む生徒たちの声は、よく言えば元気に、悪く言えばどこか空虚に響いていた気がする。「いろいろな人に手を差し伸べてもらっている学校だから、何とか軌道に乗せたい。」という必死さで生徒と接してきた。空虚だったものがうまり、報われた気がする。



「被災地ガイド」で。中央が渡辺さん



まちがいは7



〈問題〉上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがいが
あります。どこでしょう。印刷のよごれやかすれ、
スクリーントーンの濃淡はまちがいに入りません。

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ（メールも可）に、
①クイズの答え、②氏名（ふりがな
も）、③住所、④所属労組名、⑤ひ
とことを必ず（必要な方はペンネ
ームも）書き添えてご応募ください。
締め切りは4月15日です。抽選で
5名の方に図書カードをプレゼント
します。

281号（1月号）の クイズの答えと当選者

答えは①かずのこ②いせえび③す
ごろく④こま⑤かるた（こっぱい）
⑥ぼちぶくろ⑦おみくじでした。応
募者は9名で全員が正解。次の9名
の方に図書カードを送ります。

- ◇会津地方労連 赤べこさん
- ◇会津地方労連 くらねこさん
- ◇コープあいづ労組 スマイルさん
- ◇二本松市職労 ますをさん
- ◇こだま交通労組 ケンミキさん
- ◇こだま交通労組 雪見だいふくさん
- ◇福厚労鹿島分会 かめさん
- ◇みやぎ生協労組 だちんさん
- ◇大原病院労組 ナマステさん

がんばってます！～各地のとりのくみ～



●「あれから13年 原発事故は終
わっていない 3・10アクション」
いわき市労連も参加する7者共闘の主
催で、3月10日、いわき小名浜イオン前
で、集会とスタンディングを実施（約20
0人参加）。「原発なくせ」「汚染水を海に
流すな」のシュプレヒコールをあげまし
た。写真は決意表明するいわき市労連
能登俊輔議長。

●ふくしま未来農協労組福 島支部「2024年 学習会& 新年会」

1月27日、福島市ウェディングエ
ルティで、コロナ禍以来、久しぶり
の新年会を開催（前段では総務
の方を講師に人事制度の学習会
も）。余興の抽選会で会場は大い
に盛り上がりました。



●福島県国公「2024年春 闘決起・交流集会」

2月16日、コラッセふくしま内展
望レストラン「きいちご」で開催
（21人参加）。春闘方針を意思
統一するとともに、「全員に何か
が当たる」抽選会、参加者インタ
ビューなどを織り交ぜながら、
単組間の交流を深めました。



「4.10 最低賃金ビッグアクションデー」 職場・地域から声を広げよう！

「全国一律・時給 1,500 円以上」の最低賃金実現にむけた全国いっせい行動です。
職場では、みんなで集まって、最低賃金について学び話し合しましょう。
地域では、地元の国会議員、経営者団体との懇談や宣伝行動に取り組みましょう！

聞いて聞いて
私の思い みんなの願い

☆漢字クイズなかなか難しいです。パ
ソコンばかりで読めなくなってます。ま
つています。文字はやはり書くのが一
番ですね

（コープあいづ労組 スマイルさん）

☆看護師をしています。人手不足が
働く環境を悪くし、さらなる人手
不足を招いています。このままです
と病院がつぶれます。

（福厚労 りくさん）

☆福島駅東口再開発の遅れ、イトー
ヨーカドーの撤退と福島駅周辺の
空洞化を懸念しています。

（みやぎ生協労組 だちんさん）

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実！
等級別割引・割増の継承ができる！

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ